

令和6年度 第1回川崎市宮前市民館専門部会会議録（要旨）

日 時 令和6年6月28日（金） 14:00～16:00

会 場 宮前市民館 第4会議室（4階）

出席者	部会長	川西 和子	調査モデレーター・分析・各種司会
	副部会長	山本 太三雄	菅生分館利用者懇談会
	委 員	白武 初江	宮前第6地区民生委員児童委員協議会 会長
		高久 實	宮前区全町内・自治会連合会 理事
		檜崎 光雄	市民委員
		宮下 大志	宮前区PTA協議会 副会長
欠席者	中川 正彦	川崎市立富士見台小学校 校長	
	渡辺 美代子	宮前区文化協会 会計	
事務局	宮前市民館	大木館長・徳原係長	
	菅生分館	田添分館長	

会議の成立 委員8名中6名出席のため、成立

会議の公開・傍聴人 なし

次 第

1 宮前市民館長あいさつ

2 委嘱式

3 議事

（1） 川崎市社会教育委員会議 宮前市民館専門部会について

（2） 正副部会長の互選について

（3） 報告事項

ア 令和6年度予算及び事業概要について

・宮前市民館・菅生分館の管理運営予算について

・宮前市民館・菅生分館の社会教育振興事業予算及び実施計画について

（4） 協議事項

ア 今期の取組について

（5） その他

配付資料

令和6・7年度 川崎市社会教育委員会議宮前市民館部会 委員名簿

- 資料1 川崎市社会教育委員会「宮前市民館専門部会」について
- 資料2 令和4・5年度 宮前市民館専門部会研究報告書
「人と人を繋ぐ市民館であるためにⅡ」について
- 資料3 令和6年度 補修工事予定一覧
- 資料4 令和6年度 宮前市民館 社会教育振興事業実施状況
- 資料5 令和6年度 宮前市民館菅生分館 社会教育振興事業実施状況
- 資料6 「教育文化会館・市民館専門部会 研究課題（活動報告書より）」

(参考)

- 宮前市民館だより 第254号（4月1日発行）、第255号（6月1日発行）
- 菅生分館だより 第183号（4月1日発行）、第184号（5月1日発行）、第185号（7月1日発行）

●宮前市民館事業チラシ

- 「宮前日本語学級」 識字学習活動
- 「趣味のスマホと園芸～花を愛で、スマホを学ぶ～」 シニアの社会参加支援事業
- 「スマホ相談会 4月・5月・6月・7月」 現代的課題学習事業
- 「うたごえ市民館」 市民自主企画事業
- 「宮前親子学級～あそんで 学んで 育ちあおう～」 家庭・地域教育学級
- 「みやまえ子育てフェスタを一緒に盛り上げよう！」 課題別連携事業
- 「子フェスタ クリエイティブ DAY・子フェスタ広場 2 DAYS」 課題別連携事業
- 「夏休み子どもあそびランド 2024 あそびの達人募集！」
- 「夏休みこどもあそびランド 2024 サポーター募集！」
- 「夏休みこどもあそびランド 2024 あそびランドをもっと楽しむサポーター養成講座」
多様な主体が参画する子どもあそびランド事業

●菅生分館事業チラシ

- 「スマホボランティア養成講座」 シニアの社会参加支援事業
- 「保育ボランティア入門講座」 市民エンパワーメント研修
- 「菅生分館で「マナビ」のタネを見つけよう」 青少年教室事業
- 「児童室であそぼう Day」 はじまります！ 子育て支援啓発事業
- 「おしゃべりサロンすがお これからの予定」（4月～6月） 課題別連携事業
- 「おしゃべりサロンすがお これからの予定」（7月～9月） 課題別連携事業

●令和5年度 教育文化会館・市民館活動報告書

- 生涯学習情報誌「ステージアップ」 Vol. 249

1 宮前市民館長あいさつ

2 委嘱式

3 議事

(1) 川崎市社会教育委員会 宮前市民館専門部会について

(2) 正副部会長の互選について

部会長について高久委員から川西委員が推薦され、承認された。

副会長について檜崎委員から高久委員が推薦され、その後、高久委員から山本委員の推薦があった。川西部会長から、菅生分館利用者懇談会から選出されている山本委員に菅生地域のフォローをお願いしたいとの意見もあり、協議の結果、山本委員が副部会長として承認された。

(3) 報告事項

ア 令和6年度予算及び事業概要について

・宮前市民館・菅生分館の管理運営予算について

令和6年度の宮前市民館、宮前図書館及び菅生分館の補修工事の予定について、資料3に基づき、徳原係長から説明を行った。

(質疑応答)

檜崎委員

今の市民館の建物はいつまで使用するのか。予定されている工事は補修工事なのか。また、工事の金額はどのくらいなのか。

大木館長

現時点では、宮前市民館は令和9年から10年に鷺沼駅前に移転する予定となっており、令和6年度に実施予定の工事はすべて補修工事である。

それぞれの工事の金額については、冷温水発生機その他設備が3357万円、ピンスポット照明設備が1500万円、泡消火設備が1146万円、泡消火剤及び設備配管が約2000万円である。

また、軽易工事として予定しているものは、1件20万～300万円程度と金額に幅がある。

・宮前市民館・菅生分館の社会教育振興事業予算及び実施計画について

令和6年度の宮前市民館の社会教育振興事業の実施状況について、資料4に基づき徳原係長から説明を行った。

(補足説明)

- ・識字学習活動（昼）の保育は、コロナ後、昨年から受付を再開したが申し込みはなかった。今年は申し込みがあり、3人の学習者が子ども連れて学んでいる。
- ・市民自主学級・市民自主企画事業は第4回の専門部会で審議をする。声をかけてもらえれば見学もできる。
- ・「スマホ相談会」は毎回好評である。今年は「出張スマホ相談会」は開催せず、

毎月向丘出張所で開催している「むかおカフェ」にボランティアが参加するかたちで継続して実施している。

- ・市制100周年記念事業として、3事業を実施する。

令和6年度の菅生分館の社会教育振興事業の実施状況について、資料5に基づき田添分館長から、説明を行った。

(補足説明)

- ・青少年教室事業「菅生分館でマナビのタネをみつけよう」は、去年は9講座だったが、今年は12講座開催予定である。
- ・「スマホボランティア養成講座」は、スマホについて気軽に話し合う場を作るためにボランティアを募る。
- ・子育て支援啓発事業は、すでに開催している「おもちゃ病院」の開催日に確保している部屋を一般にも開放してみようという試みである。
- ・市民エンパワーメント研修については、去年「地域の大人が子どものためにできることを考える講座」を実施したが、次は、広く何かをやりたい方を募るより目的を絞って育成するものを実施したいと考え、今年は「保育ボランティア入門講座」を開催することとした。

(質疑応答)

宮下委員

宮前区はタレント揃いである。地域人材育成事業では、他の切り口から地域の人材を育成していくといいのではないかと感じた。菅生分館の青少年教室事業はPTA経由でも広報できるのではないかな。

Zoom ライセンスは、市民館と分館で共有しても良いのではないかな。

徳原係長

地域人材育成事業では区役所の各課と連携して事業を開催している。情報をいただければ必要な人材が育成できるのではないかな。

田添分館長

今後、Zoom は市が一括して契約する予定と聞いている。

高久委員

区民祭は多くの人が集まる。ここで市民館のPR など市民にアプローチできることがあるのではないかな。

徳原係長

区民祭は新たな顧客の開拓につながる。様々な場面でPR できるとよい。

川西部会長

菅生分館だよりの4月号で「仲間で部屋を利用しませんか？ こんな利用ができます。」と部屋を紹介しているが、この紙面のアイディアは大変いいと思う。7月号に掲載されている「菅生分館でマナビのタネをみつけよう」

は、実施後、子どもたちからどのような感想が寄せられたのか。

田添分館長

楽しかった、おもしろかったという声が多かった。参加団体も新鮮でよかったと喜んでくれた。

川西部会長

中学生などがもっと市民館・分館に来てくれると良いと思っている。PTAでチラシを配布するイメージはあるか。

宮下委員

多くのPTAはアプリを導入しており、チラシもデータ送信できる。宮前もあと3年くらいで全校実施できるのではないかなと思う。

シニアのスマホ相談会は毎回人気の講座だが、市民館・分館に来るのはハードルが高い。市民館で育成された人材が地域に戻ってスキルが活用できる場所があると、ボランティアも達成感が持てるのではないかな。育成で終わらず、地域で活かせる循環を作りたい。

徳原係長

人材育成は地域に戻って活動してもらうことが目標でもある。スマホボランティアの「スマボラ宮前」は町内会にも呼ばれて活動しているので、市民館に相談してもらいたい。

川西部会長

出張してもらえることを市民が知らないなので、広報する仕組みも考えなければと思う。

檜崎委員

スマホ相談会に来る人の年齢層はどのくらいか。

徳原係長

70歳代以上が多い。

(4) 協議事項

ア 今期の取組について

令和6・7年度の専門部会の取組について意見を出し合った。

川西部会長

令和4・5年度に専門部会の委員をしていた人から、2年間やってみた感想を聞かせてほしい。

檜崎委員

継続した取組が必要。去年は市民館だよりを改正したので、広報活動に力を入れていくといいのではないかな。

高久委員

宮前市民館はアクセスが悪い。どの地域からどのくらい来館しているか実

態を調べるべきだ。向丘出張所やいこいの家、町内会等で講座を開くなど、外へ出ていくことも大切なのではないかな。

山本副部長

市民館と区役所の情報共有については令和４・５年度の報告書の P.27 にも取り上げられているが、もっといろいろなところで共有できるといい。年代別で、興味のある講座などが調べられるしくみ、アプリなどがあるといい。

宮下委員

「かわさきイベントアプリ」というアプリがあり、市では登録するように薦めている。

白武委員

市民館は民生委員児童委員協議会の会合で利用するなどではしか来たことがなく、事業についてはあまり知らなかった。家から宮前市民館までは遠く、アリーノの方が近いので、アリーノを利用している。

大木館長

市民館をあまり利用したことしかない人の意見は貴重である。利用されているアリーノとの違いなど気づいたことを教えていただけるとありがたい。

宮下委員

広報は大事にした方がいい。広報は人を集めるイメージだが、地域で人と人をつなぐために市民館でできることを考えられるといい。市民館で育てた人が地元に戻って活躍して、課題を持ってまた戻ってくるという人の流れができるといいと思う。

川西部会長

子どもを遊ばせながら親がコーヒーを飲んでおしゃべりできるような緩い感じの「場」があるといいのではないかな。市民館に来なくても近くに居場所があり、そこに市民館に育てられた人が出張していくという循環ができればいいし、もちろんそのためには広報活動が必要である。２期前の専門部会では、「市民コンシェルジュ」を提案した。地域活動などのチラシなどを集めて市民に紹介したが、継続的な活動はできていない。区民祭などでもできるので、担い手を集めることを考えてもいいかもしれない。

檜崎委員

スマホを利用して市民活動の PR をすると、広範囲につながっていくのではないかな。地域に関係なく交流できる時代なので、取り入れるといい。

宮下委員

あえて人を集める方法も考えられる。物の置き場に困っている人も多いので、市民館をトランクルームのように間貸しすると、活動の場として利用しなくなるのではないかな。

徳原係長

既に市民館の利用団体に倉庫を貸し出す仕組みがある。既存の利用団体が申し込んで使用しているが、改めて PR すると新規の利用者が増えるかもしれない。

今後、専門部会で、市民館で育ったボランティアが地域に出ていたり、市民館に人を呼んで賑わいを作ったりするなどいろいろなアプローチを検討していただければと思う。

川西部会長

次の部会では、テーマを決定していく。

(5) その他

第2回専門部会の開催日は、9月24日（火）午後2時からとする。

その他、次のような意見が出された。

山本副部会長

ロビーカフェで使用する机をその都度出すのが負担となっているので、出したままにしておくことはできないか。

ロビーにいる中学生なども利用できるのではないか。

徳原係長

居場所という意味で大事な部分もあるので、検討したい。